

第2章

環境の現状と対策



リユースまつり 展示の様子

第2章 環境の現状と対策

第1節 環境関連計画の進捗状況

1. 越谷市環境管理計画

指標項目		指標の説明	単位	現況値 R1 (2019)	目標値 R12 (2030)	実績値 R6 (2024)
基本目標 1 脱炭素社会の構築						
環境指標	市域からの温室効果ガス排出量	市域からの温室効果ガス排出量のうち、二酸化炭素（CO ₂ ）とメタン（CH ₄ ）、一酸化二窒素（N ₂ O）の排出量	千t-CO2 (2013年度比) %	1,386 (2017年) -10.6%	837 (2030年) -46%	1242 -19.8%
	地球温暖化・COOL CHOICE普及取組年間参加者数（市民・事業者）	地球温暖化やCOOL CHOICEに関する学習会等の参加人数	人	146	500	533
1-1	建築物省エネ法に基づく届出等件数（総振）	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく届出件数及び適合性判定件数の合計値	件	211	980	541
1-2	市の事業・支援による太陽光発電設備の発電容量（総振）	公共施設に設置または市の補助等により設置した太陽光発電設備の発電容量	kW	7,423	11,000	9,974
1-3	市の事業・支援による蓄電池の蓄電容量（EV含む）	公共施設に設置または市の補助等により設置した蓄電池の蓄電容量	kWh	621.5	6,700	5,484
1-4	永続性の高い緑地面積	二酸化炭素吸収源として、市域で確保した緑地面積の合計値	ha	1,420	1,445	1,398
1-5	乗合交通利用圏域のカバー率（総振）	市の面積に対する公共交通利用圏域（鉄道駅1km圏内、バス停300m圏内の圏域および乗合タクシーなどの新たな公共交通利用圏域）の面積の割合	%	70.5	R7 (2025) 76.5	70
1-6	リサイクル率（総振）	市内で排出される廃棄物のリサイクル率	%	17.7	25	17.5
1-7	革新的な取組の反映件数	温室効果ガス排出量の大幅削減に資する革新的な取組の反映件数	件	—	5	1
1-8						
基本目標 2 気候変動影響への適応						
2-1	気候変動適応に関する市民への情報発信回数	気候変動の影響や被害を回避・軽減する「気候変動適応」に関する講演・勉強会の開催や周知啓発等の回数	回	—	3	10
2-2	気候変動適応に関する庁内連携の取組件数	行政計画への気候変動適応の考え方・施策の反映件数や研修・資料提供等による情報提供件数	件	—	5	5
2-3	猛暑日回数当たりの熱中症搬送数	猛暑日(35℃以上)における、回数当たりの熱中症搬送人数	人/日	9.16	9.0	6.3
2-4	まるとまちごとハザードマップ設置実施率（総振）	浸水深や避難所等の知識の普及等を図る洪水ハザード看板及び避難所誘導標識の設置実施率	%	—	R7 (2025) 100	100
2-5	市の事業・支援による雨水貯留施設貯留量	公共施設に設置または市の補助等により設置した雨水貯留施設の貯留量	m3	5,310	5,440	5,318
2-6	気候変動適応に関する事業者への情報提供・支援などの取組件数	産業分野等における取組情報の収集・提供件数や助言件数	件	—	10	2
基本目標 3 資源循環型の地域形成						
環境指標	1人1日当たりごみ排出量	市民1人1日当たりが排出するごみの量	g/人・日	795	690	727
3-1	リサイクル率（総振）【再掲】	市内で排出される廃棄物のリサイクル率	%	17.7	25	17.5
3-2	家庭から排出される食品ロス量	家庭から排出される、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品の総量	t/年	8,047	6,000	7,267
3-3	集団資源回収実施団体登録件数	市内における自主的に資源回収を行う団体の登録件数	団体	464	500	410
3-4	事業系ごみ排出量	市内の事業者から排出されるごみの量	t	26,143	21,000	23,480
3-5	排出事業者及び収集運搬許可業者を対象とした説明会実施回数	排出事業者及び収集運搬許可業者を対象とした説明会実施回数	回	1	2	1
3-6	ふれあい収集の登録件数（総振）	自らごみ集積所へ排出することが困難な65歳以上の高齢者のみの世帯および障がい者のみの世帯に対して行う戸別訪問収集の登録件数	件	472	800	666
3-7	電子Manifesto普及率（総振）	産業廃棄物の適正な処理の流れを把握するためのManifesto交付状況における電子Manifestoの利用率	%	76	90	78
3-8	地場農産物の学校給食使用品目数	地場農産物の地元消費拡大や食の重要性及び農業への理解を深めることを目的とした市内小中学校の学校給食で使用する地場農産物の品目数	品目	12	12	10

基本目標 4 生物多様性の保全と回復						
4-1	希少植物の栽培・補植活動実施面積	コシガヤホシクサ、フジバカマ、ウマノスズクサなどの栽培や野生復帰実験等の実施面積	m2	109	135	120
4-2	保存・樹林・樹木地区の指定箇所数（総振）	生き物が暮らす環境の保全として、保存・樹林・樹木地区の指定数	か所	—	R7（2025） 10	0
4-3	生物の生息・生育に配慮した区域の面積（総振）	公共施設ビオトープ、環境保全区域、ふるさと米圃場、調節池ビオトープゾーン、平方自然観察林などの合計面積	ha	32.4	34	32.4
4-4	合併処理浄化槽普及率（総振）	市内における合併浄化槽の普及率	%	37	50	45
4-5	排水基準適合率（総振）	水質汚濁防止法における規制対象事業所（日平均排水量が10㎡以上）の排水基準に適合した割合	%	100	R7（2025） 100	100
4-6	農地利用集積地域数（総振）	農地の保全・有効活用を目的として実施した農地利用の集積・集約化が行われた地域数	地域	4	6	5
4-7	生物多様性子ども調査実施学校数	環境の現状について理解を図り、生き物にとってやさしい街づくりについて考えることを目的にした調査に取り組んだ学校数	校	30	30	30
基本目標 5 安全で安心な生活環境の形成						
5-1	排水基準適合率（総振）【再掲】	水質汚濁防止法における規制対象事業所（日平均排水量が10㎡以上）の排水基準に適合した割合	%	100	R7（2025） 100	100
5-2	合併処理浄化槽普及率（総振）【再掲】	市内における合併浄化槽の普及率	%	37	50	45
5-3	人口1000人あたりの騒音による苦情件数（SDGsローカル指標）	自治体におけるSDGsの取組の進捗状況を計測する際に使用される騒音に関する指標	人	0.15	0.15	0.32
5-4	空間放射線量・給食放射性物質の目標達成率	放射線対策基本方針で定められている目標値	%	100	100	100
5-5	人口1000人あたりの悪臭による苦情件数（SDGsローカル指標）	自治体におけるSDGsの取組の進捗状況を計測する際に使用される悪臭に関する指標	人	0.06	0.06	0.07
5-6	「こしがや景観資源」の登録件数（総振）（累計）	「こしがや景観資源」の登録件数	件	65	R7（2025） 240	271
5-7	景観の満足度（総振）	市政世論調査における「住んでいる地区の景観（風景）に満足しているか」という項目で、「満足している」「十分とはいえないが、概ね満足している」と回答した割合	%	66.7	R7（2025） 70	69.1
5-8	自治会清掃回収件数	各自治会が行った清掃活動により集められたごみの回収件数	件	372	400	323
5-9	市の事業・支援による蓄電池の蓄電容量（EV含む）【再掲】	公共施設に設置または市の補助等により設置した蓄電池の発電容量	kWh	621.5	6,700	5,484
5-10	多面的機能に関する情報発信件数	農地の多面的機能の維持・発揮を図るための地域活動に係る団体へ啓発及び支援を行った件数	件	4	6	14
基本目標 6 人づくり、参加・協働						
6-1	環境・SDGs学習の実施校数	環境教育を教育課程に位置づけている学校数	校	45	45	45
6-2	環境・SDGsに関する取組件数（総振）	市民・事業者等との協働による環境教育、環境活動、SDGs等に関する取組件数	件	24	R7（2025） 30	29
6-3	環境・SDGsイベント参加者数	市や市民・事業者等との協働による環境教育、環境活動、SDGs等に関する取組参加者数	人	5,232	10,000	4,783
6-4	市民・事業者によるSDGs宣言世帯数・事業所数（総振）	「（仮称）越谷市SDGs宣言」へ登録している世帯数及び事業所数	件	—	R7（2025） 1,000	202
6-5	連携取組における発表事例数	市や市民・事業者等との協働による環境教育、環境活動、SDGs等に関する取組事例の発表件数	事例/年	—	10	5
6-6	市民のエシカル消費に向けた関連施策の実施件数	リーフレット配布や出張講座等によるエシカル消費の普及啓発件数及びCOOL CHOICEなど関連施策実施件数の合計値	件	2	10	9

※環境管理計画「基本目標 1 脱炭素社会の構築」は、「越谷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」として位置付けています。

2. 一般廃棄物処理基本計画

	目標	現況値（H21）	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	評価	目標値	
						短期（R7）	中期（R12）
目標1 ごみ排出量の削減目標	1人1日当たりのごみ排出量を690g/人/日に削減する	865g/人/日	767g/人/日	735g/人/日	◎	740g/人/日	690g/人/日
	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量を440g/人/日に削減する	645g/人/日	575g/人/日	548g/人/日	○	490g/人/日	440g/人/日
	事業系ごみ排出量を21,000t/年に削減する	26,093t/年	24,086t/年	23,460t/年	◎	24,000t/年	21,000t/年
目標2 再生利用の目標	分別の徹底により、リサイクル率を25.0%に引き上げる	18.2%	16.4%	17.1%	×	20.0%	25.0%
目標3 最終処分量の削減目標	最終処分量を6,500t/年に削減する	9,957t/年	7,687t/年	7,574t/年	×	7,100t/年	6,500t/年

※リサイクル率＝（資源化量合計＋資源回収量）÷（ごみ処理量＋資源回収量）